

ロシア連邦のウクライナ侵略に対して平和的解決を求める決議

2月24日に始まったロシア連邦によるウクライナへの侵略は、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する明白な国際連合憲章違反である。

そのような中、ロシア連邦のプーチン大統領は、核兵器の使用を示唆するような発言をしているが、これらの行為は、核兵器廃絶と恒久平和を求め、核兵器廃絶・平和都市を宣言している呉市としては、決して容認できるものではない。

よって、呉市議会は、このたびのロシア連邦による暴挙に対し、抗議と非難の意を強く表明するとともに、即時の戦闘停止とロシア軍のウクライナからの完全撤退を強く求めるものである。

また、日本国政府をはじめ、関係国政府においては、一日も早い平和的解決に向けた外交努力を行うよう強く求める。

呉 市 議 会